

大阪産業創造館ネットモニター調査 -No.3 '12年10月期-

(ご協力いただいたモニター数:77社、調査時期:2012年11月5~12日)

公益財団法人 大阪市都市型産業振興センター 経済調査室
11/16 <http://www.sansokan.jp/tyousa/> tel:06-6264-9816

《10月の景況判断に関する要点》

- 10月の景況(前月比)をみると、「上昇・好転」したとする回答の割合が増えたが、他方で「下降・悪化」の割合も増えて、DI*は+1.3となり、9月(+6.1)と比べてやや低調(図1)。・3ヵ月後(1月)の見通しでは、DIは+6.5。10月DI(前月比、+1.3)と比べて小幅な改善(図1)。
- 3ヵ月後(1月)の見通しでは、DIは+6.5。10月DI(前月比、+1.3)と比べて小幅な改善(図1)。
- 10月の前年同月比では「下降・悪化」が増えて「上昇・好転」が減少、DIは-11.7で悪化(図1)。
- 「上昇・好転した理由は、「季節的な要因」が5割。他方、「下降・悪化」した理由は「内需が減少したから」が5割強(図なし)。

*DI(Diffusion Index)「上昇・好転」の割合から、「下降・悪化」の割合を引いた数字。景気動向を表す指標のひとつ。

《産創館ウェブサイトについて》

- 産創館ウェブサイトの検索機能について、ほぼ6割が「普通」と回答。また、「Bplatz press」の電子書籍について、「読みやすい」「読みにくい」がほぼ同率、「今後電子書籍で記事を読みたいと思いますか」という質問では、「機会があれば読む」が6割(図2)。

産創館ではアンケート結果を踏まえ、利用しやすいサイトの構築に向けて、今後も工夫・改善を重ねて参ります。引き続きご利用をよろしくお願いいたします。

(裏面へ続く)

図1 景況判断

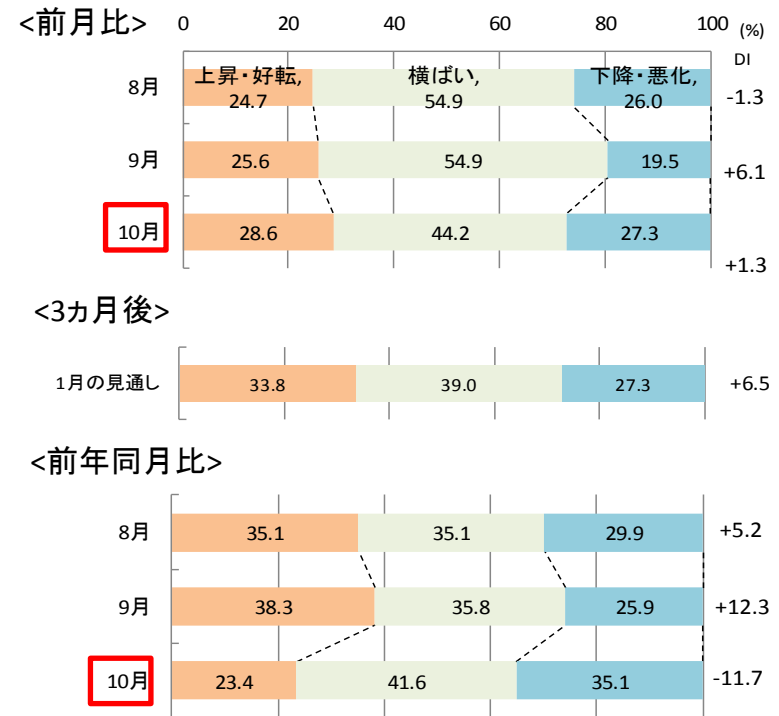
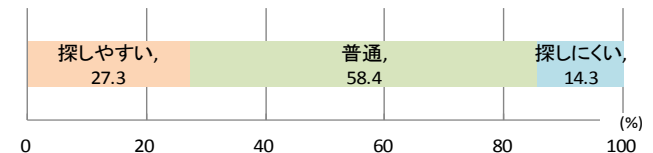
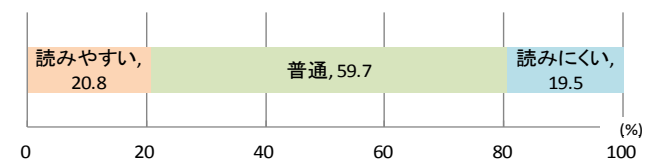


図2 産創館ウェブサイトについて

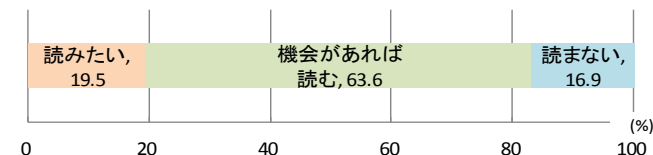
産創館ウェブサイトの検索機能について



「Bplatz press」の電子書籍について



今後電子書籍で記事を読みたいと思いますか

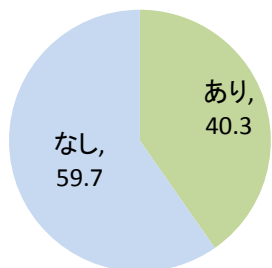


《中国との関係悪化等による影響》

- 日中関係の悪化等によって、「影響がすでに生じている」とする割合が最も多かったのは、「中国から受注している国内取引先からの受注減」で、13.0%となった(図3)。
- また、「輸出の遅延」、「調達・仕入の遅延」でも1割近くが「影響がすでに生じている」と回答した。
- 「調達・仕入の遅延」については、「今は影響ないが長引けばあり」が16.9%を占めた(図3)。
- 今後の対応は、「しばらく様子を見てから判断」とする回答が最多で、おおよそ8割前後を占めた。次いで「徐々に他の外国にシフト・分散」とする割合が高く、「輸出の遅延」で15.4%、「調達・仕入の遅延」で14.3%となった(図4)。
- 「中国からの資金・代金等の回収に遅延」については、「香港、台湾などを経由する(予定)」を考える企業も見られる(図4)。

<参考> 中国と関係する「取引あり」と「取引なし」の割合

※ 右の図3の質問で、全項目に「取引なし」と回答した割合が「なし」、1項目でも「取引あり」があった場合は「あり」



ご回答いただいた企業のうち、中国と関係する取引をされている企業の割合は4割に上った。

(より詳しい結果をお知りになりたい方やご質問がおありの方は、経済調査室までご連絡ください。)

図3 日中関係の悪化や中国経済の停滞による中国ビジネスへの影響

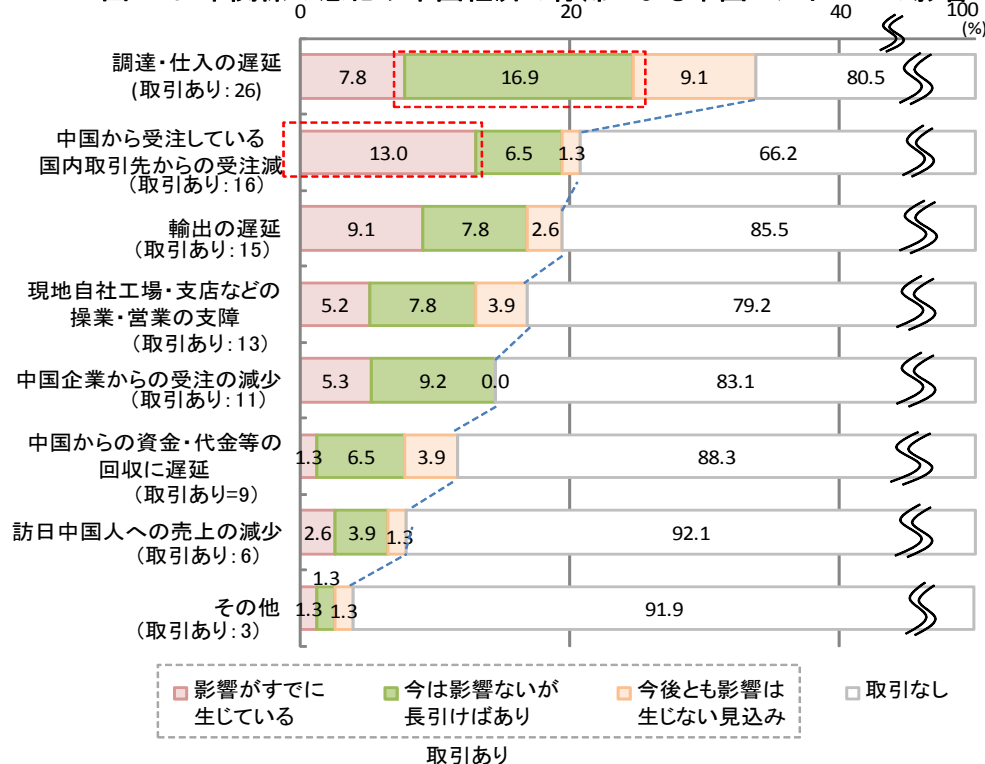


図4 各影響に対する今後の対応

